

基礎数学III ガイダンス

桂田 祐史

2004年4月15日

この講義の目標

1 変数実数値関数の微積分を習得することが目標である— というと高校数学の微積分と同じだが、以下のものが新しい。

1. 逆三角関数 ($\arctan x = \tan^{-1} x$ など)
2. Taylor の定理と Taylor 展開 ($\sin x = x - \frac{x^3}{3!} + \frac{x^5}{5!} - \dots$ など)
3. 有理関数の不定積分が原理的に必ず計算できる ($\tan^{-1} x$ を導入したため)
4. 広義積分 ($\int_1^{\infty} \frac{1}{x^\alpha} dx$ など)

必要な予備知識

高校の数学 III までの微積分のしっかりした実力が必要である。

自分の実力を考えて穴埋めすること。(高校の教科書は捨てない。もし捨ててしまった場合は代りになるものを探すこと。)

注意: この科目の試験は、新しく学ぶことについての問題が中心なので、高校の数学 III が弱くてもこの科目の単位は取れるかも知れないが、後で非常につらくなる。

テキスト

実は新しいテキストを作成中であるが、このクラスではそれを試用する。しかし教科書(一樂・池田「微分積分学」朝倉書店)も入手しておくことを勧める(基礎数学 IV, 微分積分学 I, II で必要になるが、学期の途中では入手しづらいかもしれないので)。

担当教官

氏名	かつらだ まさし 桂田 祐史
所属	明治大学理工学部数学科
研究室	第2校舎6号館の6716B号室
E-mail	mk@math.meiji.ac.jp
WWW ページ	http://www.math.meiji.ac.jp/~mk/lecture/kiso3/
オフィスアワー ¹	木曜 16:30 ~ 17:30 (研究室 6716B または同じ階の 6701 号室にいる)

成績評価

理工学部のルールとして、単位を取るには誤魔化しなく 60/100 が必要。出席²点 (マイナスはして良いことになっている)、追試なども無し。

期末テスト 80 点, 演習 (小テスト、黒板での解答など) を 20 点とする。

小テストは基本的に提出したかしないかで点をつける。ただし白紙答案の提出は認めない。授業を欠席した場合、次回の授業時に提出することを認める (それ以降は受け付けない)。

小テスト

- 問題を板書して、その解答をこちらで用意した紙に書いて提出する。問題は WWW ページにも載せておくが、ノートに書いておくことを勧める。
- 学年・組・番号・氏名、出題の日付 (提出日が違う場合は、提出日をかっこして記す)。

勉強の仕方

率直に言って、時間数にくらべて内容は多いので、油断はできない。

- 繰り返しになるが高校の数学 III の範囲は自分で努力すること。
- 出来る限り出席すること。欠席した場合は自分で補うよう努力すること。
- 短時間でも復習することが望ましい。具体的には可能な限り問題を解いてみること³。
- 分からないところは手遅れにならないうちに手を打つこと。友人と相談するのも良いし、桂田のオフィスアワーに質問しに行くのも良いし、学習支援センター (5月にスタート) を利用する手もある。

²どの科目も、原則として 2/3 以上の出席が必要となっている。

³この科目は比較的問題演習で勉強がしやすい。